

## 7. 木曾保健所におけるエイズ・性感染症予防の広報活動について

町田幸一（長野県木曾保健所）、山崎宗廣（長野県木曾保健所）、白井祐二（長野県北信保健所）

要旨：管内でのエイズ・性感染症の情報や相談・検査実施の広報は、エイズ予防ウィークと世界エイズデー、性の予防週間のイベント等での啓発活動を中心に高等学校の生徒をはじめ年代を超えたすべての人々をターゲットに進めてきた。平成18年度には木曾看護専門学校に啓発ポスターのデザインを依頼し、木曾保健所独自啓発ポスターを作製し、関係機関への配布を継続している。同じレイアウトのポスターの掲載を続けることでエイズに関する啓発を印象付ける効果をねらって、平成19年度よりコンビニエンスストアにも依頼している。また、啓発ちらしは、管内町村に依頼し全戸配布を行っている。

キーワード：独自啓発ポスター、チラシ、全戸配布、ターゲット、コンビニ

### A、目的

保健所における予防対策は、普及啓発及び教育、検査体制の強化である。長野県のエイズ感染者・患者の状況やエイズ・性感染症の相談・検査を保健所で実施している中で、地域における広報活動の実施方法を確立し、相談検査希望者をはじめ地域住民への効果的な周知を図る。

### B、方法

具体的な施策は、①青少年（専門高校生・高校生）への普及啓発の重点化、②公共の場や店舗等での幅広い年齢層への普及啓発の重点化（コンビニ・銀行・郵便局・理容店・美容室・ビデオショップ・カラオケ店・書店・医師会・歯科医師会・薬局など公共の場や店舗等）③HIV検査普及週間等による検査体制の強化である。毎年実施のエイズ予防ウィーク in NAGANO（6月1日～7日）と世界エイズデー、性の予防週間（11月26日～12月1日）や高等学校の文化祭（7月）等において、ポスター・チラシ・ティッシュの配布を設定した。

〈ハード面〉

- 平成15年6月〈エイズ予防ウィーク in NAGANO〉
  - ・エイズ予防啓発チラシを作成（A3両面）  
町村・教育委員会・専門学校・高等学校・  
医師会・木曾病院・JR駅・広域消防本部等
  - ・ティッシュ配布（1500部）
  - ・イベント貸し出し用予防パネル作製

平成18年5月

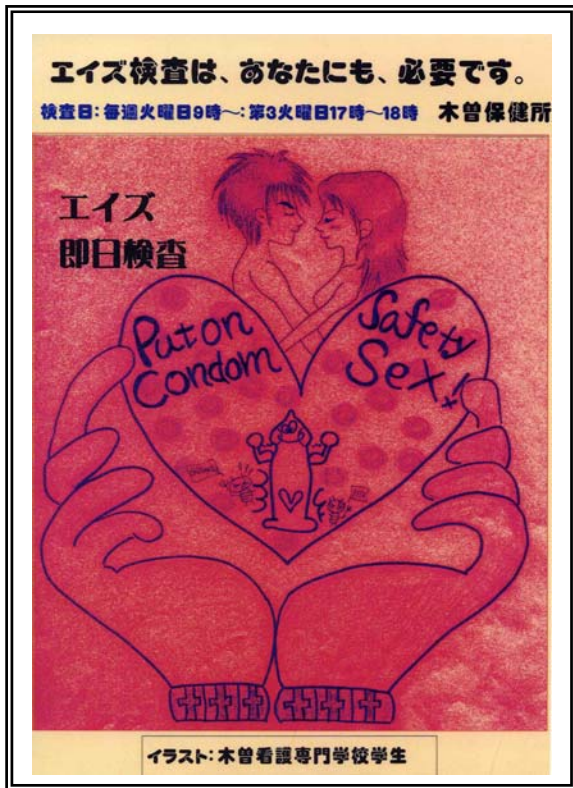
- ・木曾看護専門学校1年生の授業において啓発ポスターのデザインを依頼し、木曾保健所独自啓発ポスターを作製

平成18年6月〈エイズ予防ウィーク in NAGANO〉

- ・予防啓発チラシを作成（A3両面）
  - ・ティッシュ配布（1600部）
  - ・木曾保健所独自啓発ポスター配布（60枚）  
平成18年12月〈世界エイズデー、性の健康週間〉
  - ・予防啓発チラシを作成（A3両面）
  - ・ティッシュ配布（1600部）
  - ・木曾保健所独自啓発ポスター配布（60枚）  
平成19年6月〈エイズ予防ウィーク in NAGANO〉
  - ・新規配布先：コンビニ・銀行・郵便局・理容店・ビデオショップ・カラオケ店・書店・薬局
  - ・予防啓発チラシを作成（1800部 A3両面）
  - ・ティッシュ配布（2600部）
  - ・木曾保健所独自啓発ポスター配布（250枚）  
平成19年12月〈世界エイズデー、性の健康週間〉
  - ・予防啓発チラシを作成全戸配布（16000部 A3）
  - ・ティッシュ配布（2000部）
  - 木曾保健所独自啓発ポスター配布（230枚）  
平成20年6月〈エイズ予防ウィーク in NAGANO〉
  - ・新規配布先：美容室
  - ・予防啓発チラシを作成（16000部 A3）
  - ・ティッシュ配布（2400部）
  - ・木曾保健所独自啓発ポスター配布（250枚）
- 〈ソフト面〉
- 出前講座  
中学校・高等学校・木曾看護専門学校・学校警察保健所連絡会参加者・マラソン大会（参加者家族）・高等学校文化祭・町村イベント・社会福祉施設関係者研修会等
  - 相談・検査  
電話や来所による相談や検査に対応するマニュアルの作成と対応者の接遇訓練  
検査は可能な限り迅速対応とする

C、結果

木曾保健所エイズ予防ポスター



木曾保健所予防啓発チラシ (表)



相談・検査の推移 (2008. 6. 10 現在)

区 分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
相 談	10	20	19	45	66	29	
検 査	H I V	14	7	9	15	36	15
	梅 毒	8	5	7	5	26	11
	性器クラ ミジア	4	3	5	1	11	7

- ①平成 18 年 6 月のエイズ予防ウィーク in NAGANO より、木曾保健所独自ポスターを作製・配布を行っている。配布を始めた平成 18 年度よりエイズ・性感染症の相談・検査件数は増加している。
- ②エイズ・性感染症予防チラシも平成 15 年より毎回作製し配布している。「チラシを見てエイズ検査を受けにきた」という住民や「このポスター見たことある」などの反響があった。
- ③平成 20 年度は、性経験のある高校生がグループで検査を受けに来ている。

D、考察

広報活動は地域によって受け皿に差があり、啓発方法にも差がある。木曾管内は、約 13000 世帯、人口約 33000 人である。地理的にも閉鎖性が高く性に関する考えも先進的ではない。教育現場での性教育の統一も充分図られてない。住民にアピールし意識を持たせるためにはポスターやチラシ等の情報を繰り返し時間をかけて周知し、意識の中にすり込むことが大切である。A3 サイズのポスターは掲示の依頼に適したサイズである。平成 18 年に木曾看護専門学校の授業に依頼したデザインの啓発ポスターはアピール性の高い作品である。

E、まとめ

公共の場や店舗等での広報は、年齢層を絞ってではなく、より多くの人々に周知できる望ましい方法である。ポスターは共通のデザインとロゴで統一し、繰り返し使用し意識付けを行う必要がある。木曾管内は世帯・人口が少ないこともあり、チラシの全戸配布は意識付けに有効である。

学生の中には性経験のある生徒もない生徒もおり、発達段階と価値観に差がある。それを尊重した教育や対策のあり方が求められる。

今後、保健所における予防対策は、エビデンスに基づくエイズ対策と教育及び、個人への情報提供と社会のあり方を再構築する予防対策を視点とし、そのための努力が必要である。

F、文献

- 1 高校生向け性教育教材：東京医療保健大学 渡會睦子
- 2 10 代の性行動と日本社会：京都大学大学院 木原雅子